

▶ 伝える声に 思いをのせて ～ 声の広報 ～

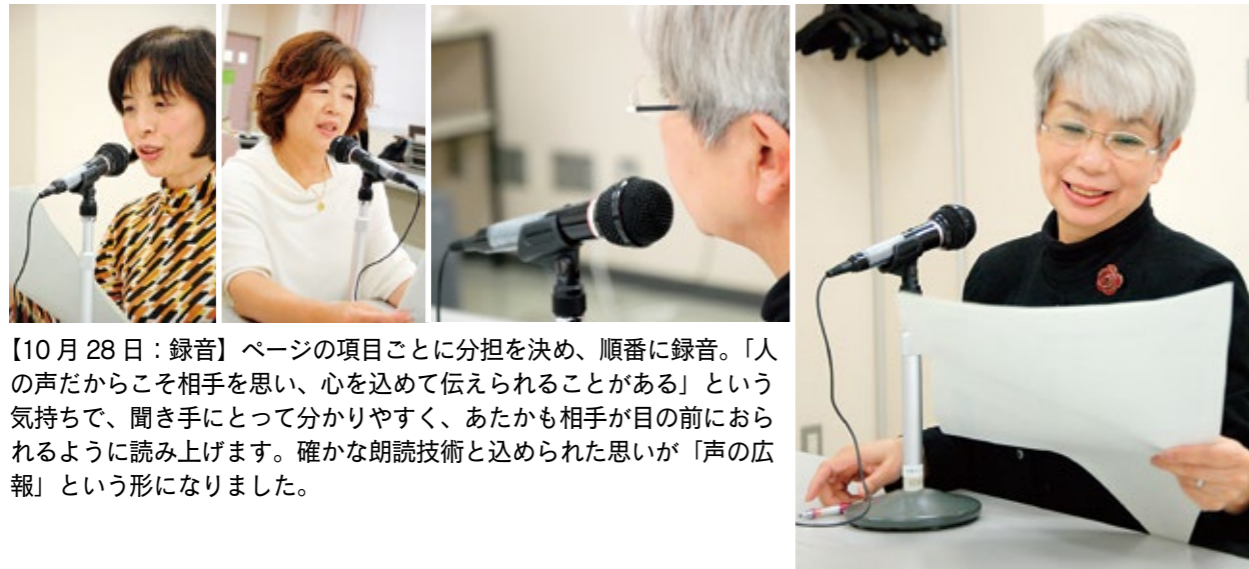
市では、目の不自由な方に、「広報まいづる」の音声版「声の広報」を毎月発行。声の録音には朗読ボランティアこだま会の皆さんに協力いただいています。その「声の広報」11月号の作成の様子を写真で紹介します。



【10月23日：校了】広報広聴課にて、広報まいづる11月号が校了。読み上げ用原稿を作成して受け渡し。



【10月24日：下読み】朗読ボランティアこだま会の広報チームの皆さん全体で下読みが行われました。読み方やアクセント、ページの項目など聞く人に分かりやすいよう細かい部分を確認・検討していきます。



【10月28日：録音】ページの項目ごとに分担を決め、順番に録音。「人の声だからこそ相手を思い、心を込めて伝えられることがある」という気持ちで、聞き手にとって分かりやすく、あたかも相手が目の前におられるように読み上げます。確かな朗読技術と込められた思いが「声の広報」という形になりました。



【10月31日：複製】身体障害者福祉センターで、利用者の人数分を複製が行われ、袋に入れて利用者の手元へ届けられます。

「声の広報」利用者の声

廣瀬佐代子さん

毎月楽しみに聞かせてもらっています。広報まいづるは私にとっては貴重な情報源。いろいろな情報を、聞きやすく録音されていて助かります。中でも、何回も聞きたいところは、コピーしておいて、後で聞きなおしたりもしていますよ。次号も楽しみに待っています。

▶ 日星高校 亀井捕手がプロ入り

プロ野球ドラフト会議でDeNAから育成ドラフト1位指名を受けた日星高校3年の亀井捕手が10月29日、同校で吉田孝司編成・スカウト部長兼GM補佐から指名のあいさつを受けました。この日は、両親や水嶋純作校長、山中始之監督も同席。亀井捕手は「ほかの選手に負けないように、追い越すようやっていたい」と意気込みを話しました。

また、11月12日には多々見市長を表敬訪問。「プロ野球でたくさんの方の事を学んで舞鶴で野球をしている子の目標になるようがんばります」と心境を語りました。

11月21日には本契約も終了。来年1月7日から横須賀市にある寮に入り、合同自主トレーニングに臨む予定。現在は走り込みを中心に足腰を鍛えているとのこと。



①吉田スカウト部長（右から2人目）が来校（10月29日） ②③④多々見市長を表敬訪問（11月12日）

▶ 「舞鶴かに®」初セリ

11月6日、冬の味覚「舞鶴かに®」（ズワイガニ）漁が今年も解禁。府漁協舞鶴地方卸売市場には、水揚げされたばかりの舞鶴かに®が並び、仲買人たちの威勢の良い声が響き渡る中、カニは次々と競り落とされました。



①緑色のタグがついた「舞鶴かに®」 ②チョコキまるも登場 ③初セリの様子